

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和8年7月9日
事業者名:	ロイヤル電気産業 株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	各工事現場、技術者に徹底し、現場等で発生する産業廃棄物について、資源化やリユースに転換するなどして廃棄物の削減に努めている。また、環境エネルギーの観点から、太陽光発電事業も推進しており、弊社社屋においても太陽光設備を設けており、限りある資源を大切に地域全体で災害時での電源活用も視野に入れている。また、社屋照明設備においてもLED化を実施、省エネに向けた取り組みを行っている。		⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう、⑪住み続けられるまちづくりを	太陽光発電事業においては2012年11日に社屋屋根に設置し、前年の発電実績は29,057kWh。また、太陽光などの再生エ、LED化などの省エネ電力設備に関する工事実績は前事業年度において48件、太陽光設備メンテナンスも行い、地域全体として効率の良い発電に主眼を置き、地域での再生可能エネルギーの推進にも貢献している。	指標	再生エネルギーの効率運転、再生省エネ工事案件数
					目標	2030年までに（2025年度比） ・日常点検、メンテナンスを行い、効率の良い発電量を維持し、自社太陽光発電量110% ・再生省エネに係る工事、メンテナンス案件数150%
社会	ぎふ・ロード・プレーヤーに参画し、地域清掃活動や河川の美化活動に重点的に取り組んでいる。また、岐阜県ワークライフバランス推進企業としても登録を受け、働く従業員の働きやすさ、コミュニケーションの機会を積極的に設けている。レクリエーション活動として旅行や遊びを通じて社員同士の関係性を構築。職歴でなく人間性を主きに置く人事方針を採用。また、定期健康診断を実施し、各自の健康状態を把握し、健康状況によって離職することないよう配置換え制度も就業規則に設けている。更に、瑞穂市との間で災害応援協力協定を締結しており、災害時の協力体制を整えている。		⑧働きがいも経済成長も、⑩人や国の不平等をなくそう、④質の高い教育をみんなに	・昨年5月12日、11月10日に県道23号線道路美化、清掃活動を実施 ・子ども110番、クールスポットの開設、市内イベントに協賛 ・岐阜県ワークライフバランス推進企業として働き方改革推進宣言として労働時間削減、年次有給休暇取得促進、健康づくり、レクリエーションや資格取得支援制度についての労使間で宣言 ・社内レクリエーションは、直近実績として今年の4月22日～24日に熊本県へ参加者4名にて旅行を開催	指標	地域貢献参画数、時間外労働時間削減、年次有給休暇取得推進、資格取得支援、社内全体のコミュニケーション増幅
					目標	2030年までに（2025年度比） ・子ども110番、クールスポット利用者、地域ボランティア参加率150% ・各従業員の時間外労働時間50%減 ・有給休暇取得率年間60% ・各年直近5年以内に資格取得支援した従業員の上位資格における取得支援を対象者全員に実施 ・社内レクリエーション年間不参加者数0人
経済	弊社において施工する工事においては、太陽光設備、蓄電設備、LED化をすすめており、CO2削減、省エネに向けた事業体となるよう日頃より意識して取り組んでいる。また、それらの工事に関する材料や製品の仕入れ、協力会社に関しても地元企業の活性化も目指し優先選定している。デジタル技術も取り入れ、人手不足な我が業界において効率を意識し、業務効率化を意識遂行。		⑪住み続けられるまちづくりを、⑬気候変動に具体的な対策を、⑫つくる責任 つかう責任	・地域全体としての自社の試みとして再生省エネとしての太陽光発電、LED化関する工事を積極的に施工している。（前年48件） ・地元企業や協力会社を積極的に選定しているが、割合としては全体の約90%を推移。 ・営業所や各工事現場間などといった遠隔な状況下でも映像通信技術を活用するなどして現場間の往来を削減し、効率性、生産性ともに向上。契約、設計図書のペーパーレス化を行い資源の削減に努めている。	指標	地元企業活性化、CCUSの現場導入及び現場活用
					目標	2030年までに（2025年度比） ・岐阜県内の電材仕入業者、協力会社利用率100% ・CCUSの現場運用を導入し、自社元請工事CCUSの公共工事での現場活用率100%、民間工事70%を基準とし、現場の遠隔管理を視野に、更なるデジタルな現場運用を目指す。
ガバナンス	チェック					
		SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている（PDCAサイクル等）。 ＜具体的な内容を記載＞ 重点的な取り組みを、自社HPを精査しより対外的に公開するとともに社内掲示を行い、環境、社会、経済分野の三側面において、経理人事部が担当となり目標値を2030年に向けて年単位で設定。全従業員を牽引し月単位で社内に適宜フィードバックを行い目標に向けて社内全員で認識を共有し伴走する。 例として、月単位での発電量の前年比較、時間外勤務時間、有給休暇取得日数の管理、資格取得に向けた年間スケジュール管理、雇用と並行した資格取得やCCUSの導入の仕組み化を構築する。 また、廃棄物の適正処理、マニフェストの適正管理による法令遵守、廃棄物の削減、再資源化を周知徹底する。				
		SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 ・ https://royaldenki.com/page06 ・ 営業所窓口にて重点的な取り組みについて掲示				